

大潟区内では消雪パイプ設置要望も

県道新井柿崎線整備促進議員連盟の現地視察が19日にありました。今回視察したところは、道路改良工事中の三和区下中地



内をはじめ5か所です。このうち、高橋付近では、地元町内会の方から振動対策などの強化を求められました(イラスト)。橋の幅は狭く、近隣の住宅や事業者は揺れに悩まされている。その状況がよくわかりました。

私も日常的に通っている頸城区上増田地の内の交差点、ここは朝の通勤の時間帯などの混雑で困っている場所です。頸城区総合事務所の岡村所長や上野市議などから早急な取り組みの声が上がっていました。

大潟区高橋新田地内では消雪パイプ設置の要望が初めて出されました。現在、南北に設置してある場所に挟まれた約600坪の区間です。県振興局の幹部からは、「除雪要員の確保が難しくなっている中で、消雪パイプ設置によって機械除雪を少なくするという選択肢もある」との発言もあり、今後の働きかけが重要になってきました。みんなで力を合わせて頑張ります。



歌も花火も金魚すくいも

わが家から近いので、柿崎区の下黒川夏まつりに参加してきました。歌あり、金魚すくいあり、花火などもある。楽しいイベントでした。



浄福寺での「平和の鐘」に参加

9日、柿崎区の浄土真宗本願寺派寺院、浄福寺へ行ってきました。長崎市への原爆投下時間に合わせて鐘を突く、平和行動があったのです。予定よりも10分ほど早く行ったのですが、新婦人の人たちや地元の人たちがすでに数人集まっておられました。ここで平和の鐘を突かせてもらったのは2度目です。核兵器廃絶と平和への思いを新たにしました。イラストはこの時の様子を描きました。



甲子園大健闘の新潟産大付に上越勢4人



甲子園で大健闘した新潟産業大付属の野球チーム。ベンチ入りした上越市出身の4人の選手たちも頑張りました。

スマホのカメラで左のQRコードを読みとれば、「コウノトリさん、ありがとね」の歌の動画を見られます。



青野池で15日に見かけたコウノトリ3羽。いずれも関西方面からやってきたものですが、真ん中の鳥は2021年から毎年吉川区に来ています。

【ポンテデリア】ミズアオイ科の水生植物。和名はナガバミズアオイ(長葉水葵)。草丈は60㍍～100㍍。上の方にぐんぐんと伸びます。原産地は南北アメリカ。花期は5月から10月。青紫色の花を咲かせます。ハチが蜜を求めてよくとまっています。花言葉は「同情」。写真は8月8日大島区菅蒲にて撮影。

はしづめ法一の活動レポート

No.2168 2024.8.25

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一

検索

今年は昨年秋に亡くなった弟の初盆でした。昨年は母、今年は弟と二年続きの初盆となりましたが、今年のお盆もドラマが相次ぎました。

まずは弟のところへ。お盆入りした十三日、大瀧区にある弟の家に行くと、弟の子ども夫婦やその子どもたちが集まっています。小さな子どもたちはみんな遊び盛り、所狭しと動き回るなか、私は仏壇の前に行き、手を合わせました。

その後、居間でお茶をご馳走になりました。そのときです。弟の末娘がうれしいことを伝えてくれたのは。「おじちゃん、お父さんの夢見たよ。お父さんね、玄関から入ってきたの。A4の紙、ないかね」って……。台所ではお父さんの塗料の匂いもしたよ」と教えてくれました。末娘が語る言葉には現実味がありました。

たぶん、弟はいつもの白い軽トラックに乗って帰って来たのでしょうか。助手席には仕事道具やメモが置かれ、着ているズボンには塗料が付いていたに相違ありません。

それにしても、「A4の紙、ないかね」はどういう意味でしょうか。天国に行っても好きな絵を描いていて、紙が足りなくなっていたのでしょうか。どうあれ、弟が生きていれば、ありそうな出来事です。弟の連れ合いがわが家の仏壇のお参りに来た際、私は「イサムのお壇のところに持って行ってくんない」と言ってA4の紙を手渡しました。私の所にはA4の紙がたくさんあったからです。

これで、次回、誰かの夢に出た時には、弟は得意とするホオズキの絵を持参し、「描いたよ。観てくんない」と言うかも知れません。

続いて墓参りをめぐる話です。十三日は弟の家に行くまでに二か所で墓参りをしてきました。一か所はいうまでもなくわが家の墓です。吉川区尾神にあります。

お盆前に高崎市在住の八八歳の従姉（いとこ）から「おばさんにお花をあげて」と言われていたこともあり、テレビ電話で墓参りを実況中継しました。その際、周りの風景だけでなく、元のわが家の屋敷跡なども従姉に見てもらったら、祖父や叔母などとの戦争時の疎開生活を思い出したらしく、大喜びでした。

もう一か所は連れ合いの実家の墓です。すでに義父母が亡くなり墓に入っています。この日は、わが家だけでなく実家も忙しいことだし、そっと墓参りをして帰るつもりでした。だから連れ合いの実家には、何時に行くという連絡もしませんでした。

ところが、午後四時に墓場のそばの市道に車を止めたら、前方から見たことのある人たちが歩いてくるじゃありませんか。義姉とその子ども夫婦たちでした。さらに見慣れた車も到着しました。こちらは義兄たちの乗った車でした。お盆の初日ということもありますが、連れ合いのキョウダイ三人が約束もしていないのに、まったく同じ時間に墓場で合流することになるとは……。偶然とはいえ、びっくりました。

連れ合いの実家の墓のそばには、百日紅の木があります。今年は花の付きがイマイチでしたが、横に伸びた枝は健在でしっかりと頭を下げていました。墓の前に行く際、ちょっと頭を下げてないとこの枝に頭をぶつけてしまいます。これは「墓の前で頭を下げさせる」義父の作戦でした。

墓の前では、百日紅の花を見ながら、墓の今後の管理のことや義父のこの作戦のこととが今回も話題となりました。

夢でもいいから亡くなった大事な人と再会したい。みんな、そう思っています。お盆では亡くなった人が夢に出て来なくても思い出話の中で必ず登場します。今年のお盆も亡くなった人の顔を思いだし、絆を確認する大事な機会となりました。

暁天講座でコウノトリの話

浦川原区熊沢の寶恵寺で16日、暁天講座がありました。

私は今回は講師役。コウノトリとの出会いから今春の営巣、抱卵、ふ化、巣立ちに至る過程をスライドや動画で観ていただき、コウノトリへの熱い思いを語らせていただきました。最後にいま話題の「コウノトリさん、ありがとね」の歌（表面にQRコード）を聴いてもらいました。

講座には、地元だけでなく、隣の安塚区や東京などからも参加して下さった方がありました。感謝です。



上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月7日(水)	8月21日(水)
上越消防署	0.050	0.050
上越南消防署	0.047	0.050
新井消防署	0.053	0.050
頸北消防署	0.047	0.047
頸南消防署	0.060	0.067
東頸消防署	0.047	0.047
名立分遣所	0.057	0.050
高士分遣所	0.057	0.050

懐かしさがいっぱいの写真展

大島区熊田で開催された「懐かしの写真展」を観てきました。

この写真展では今回、モノクロ写真をカラー化する試みもされていました。町内会長さんから、昔の時計屋さんのことや旧大島中学校が三竹沢にできた経緯、カラー化のすざなどについて語っていただきました。良かったです。



今年も昨年秋に亡くなった弟の初盆でした。昨年は母、今年も弟と二年続きの初盆となりましたが、今年のお盆もドラマが相次ぎました。

まずは弟のところへ。お盆入りした三日、大瀧区にある弟の家に行くと、弟の子ども夫婦やその子どもたちが集まっています。小さな子どもたちはみんな遊び盛り、所狭しと動き回るなか、私は仏壇の前に行き、手を合わせました。

その後、居間でお茶をご馳走になりました。そのときです。弟の末娘がうれしいことを伝えてくれたのは。「おじちゃん、お父さんの夢見たよ。お父さんね、玄関から入ってきたの。A4の紙、ないかね」って……。台所ではお父さんの塗料の匂いもしたよ」と教えてくれました。末娘が語る言葉には現実味がありません。

たぶん、弟はいつもの白い軽トラックに乗って帰って来たのでしょうか。助手席には仕事道具やメモが置かれ、着ているズボンには塗料が付いていたに相違ありません。

それにしても、「A4の紙、ないかね」とはどういう意味でしょうか。天国に行っても好きな絵を描いていて、紙が足りなくなっただけでしょうか。どうあれ、弟が生きていれば、ありそうな出来事です。弟の連れ合いがわが家の仏壇のお参りに来た際、私は「イサムのお壇のところに持って行ってくんない」と言ってA4の紙を手渡ししました。私の所にはA4の紙がたくさんあったからです。

これで、次回、誰かの夢に出た時には、弟は得意とするホオズキの絵を持参し、「描いたよ。観てくんない」と言うかも知れません。

続いて墓参りをめぐる話です。十三日は弟の家に行くまでに二か所で墓参りをしてきました。一か所はいうまでもなくわが家の墓です。吉川区尾神にあります。

お盆前に高崎市在住の八八歳の従姉（いとこ）から「おばさんにお花をあげて」と言われていたこともあり、テレビ電話で墓参りを実況中継しました。その際、周りの風景だけでなく、元のわが家の屋敷跡なども従姉に見てもらったら、祖父や叔母などとの戦争時の疎開生活を思い出したらしく、大喜びでした。

もう一か所は連れ合いの実家の墓です。すでに義父母が亡くなり墓に入っています。この日は、わが家だけでなく実家も忙しいことだし、そっと墓参りをして帰るつもりでした。だから連れ合いの実家には、何時に行くという連絡もしませんでした。

ところが、午後四時に墓場のそばの市道に車を止めたら、前方から見たことのある人たちが歩いてくるじゃありませんか。義姉とその子ども夫婦たちでした。さらに見慣れた車も到着しました。こちらは義兄たちの乗った車でした。お盆の初日ということもありませんが、連れ合いのキョウダイ三人が約束もしていないのに、まったく同じ時間に墓場で合流することになるとは……。偶然とはいえ、びっくりでした。

連れ合いの実家の墓のそばには、百日紅の木があります。今年には花の付きがイマイチでしたが、横に伸びた枝は健在でしっかりと頭を下げないこの枝に頭をぶつけてしまえます。これは「墓の前で頭を下げさせる」義父の作戦でした。

墓の前では、百日紅の花を見ながら、墓の今後の管理のことや義父のこの作戦のこととが今回も話題となりました。

夢でもいいから亡くなった大事な人と再会したい。みんな、そう思っています。お盆では亡くなった人が夢に出て来なくても思い出話の中で必ず登場します。今年のお盆も亡くなった人の顔を思いだし、絆を確認する大事な機会となりました。

霧が流れるなか、賑やかに「山の上フェスティバル」 「コウノトリさん、ありがとね」の歌も披露

今年も11日、尾神岳での「山の上フェスティバル」が開催されました。パラグライダー練習場からシャトルバスに乗って会場に行きましたが、シャトルバスには長い列ができました。

会場のパノラマハウス近くの広場は時折、青空が出ていましたが、霧も流れていました。涼しい風が吹き、日本海に夕日が沈んでいく。そうしたなかで、まず頸北太鼓の皆さんが気合の入った演武を披露、ピアスが懐かしい昭和の歌を歌い、佐藤ひらりさんが澄んだ歌声で聴衆を魅了しました。「さとちゃん」が司会だけでなく、歌を歌うとは……。びっくりでした。そして庄野真代が愛と平和の歌で盛り上げました。最後の「平和のうた」が心に響きました。

ピアスが先日のパティオ上越に続いて、この会場でも「コウノトリさん、ありがとね」を歌ってくれました。会場には「この歌を聴きたくて来た」という人もいました。ありがたいことです。この歌の動画は、表面のQRコードから入れます。ぜひお聴きください。



ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における 空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月7日(水)	8月21日(水)
上越消防署	0.050	0.050
上越南消防署	0.047	0.050
新井消防署	0.053	0.050
頸北消防署	0.047	0.047
頸南消防署	0.060	0.067
東頸消防署	0.047	0.047
名立分遣所	0.057	0.050
高士分遣所	0.057	0.050